

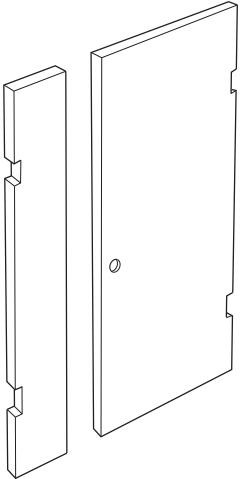
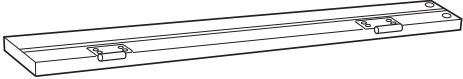
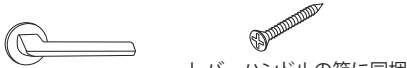
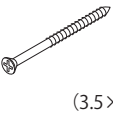
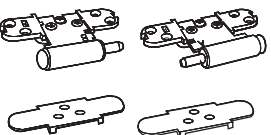
施工説明書 施工業者様用

カルモ c a l m o 内装ドアユニット
親子ドア・ハイドア

このたびは、阿部興業の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

！ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉 梱 包		別 梱 包			
扉本体 (親扉:1 子扉:1)			上 枠 (1)	 上受けつぼ付	
			縦 枠 (2)		
			縦用戸当り (2)		
レバーハンドル(1) 丁番取付けビス(16)	 レバーハンドルの箱に同梱		上用戸当り (1)		
受けつぼ(1) 取付け用ビス(2)	 レバーハンドルの箱に同梱		枠組立てビス (4)	 (3.5×50mm)	戸当り用ビス  (2.0×32mm)
扉側丁番(上・下) (4) ※ハイドア(6) 丁番ケースカバー (4) ※ハイドア(6)	 レバーハンドルの箱に同梱		躯体取付けビス (10)	 (4.2×62mm)	

《枠品番構成》

F(H)Z - ○ - □ (R・L)

※0:ハイドア

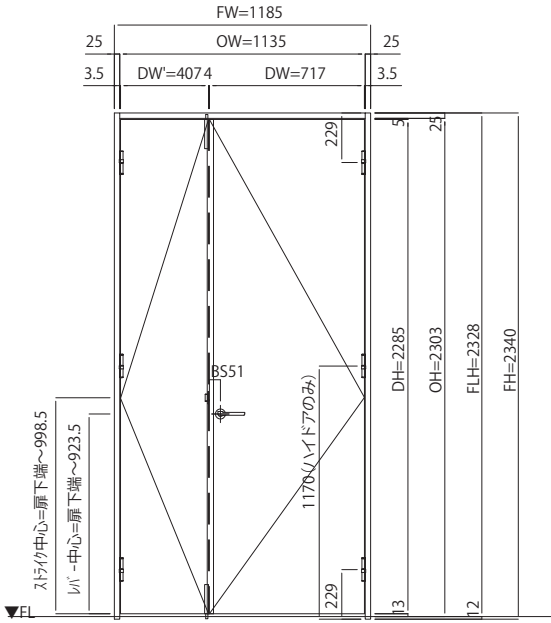
固定枠	○	枠見込	FW(枠外)	H
	W	114mm	1185mm	2047mm 2340mm
	S	155mm		
	L	175mm		

※H:製品サイズ

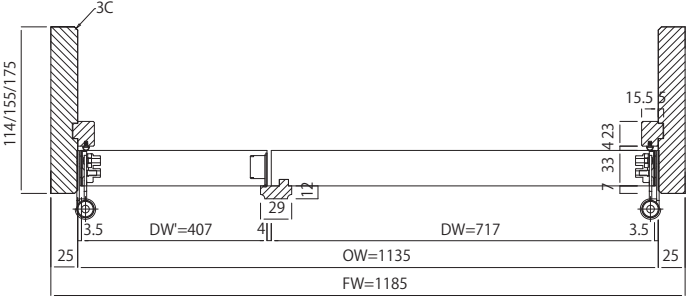
□
色品番

R	右吊元
L	左吊元

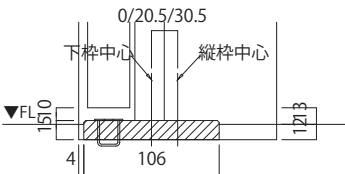
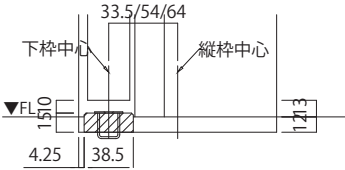
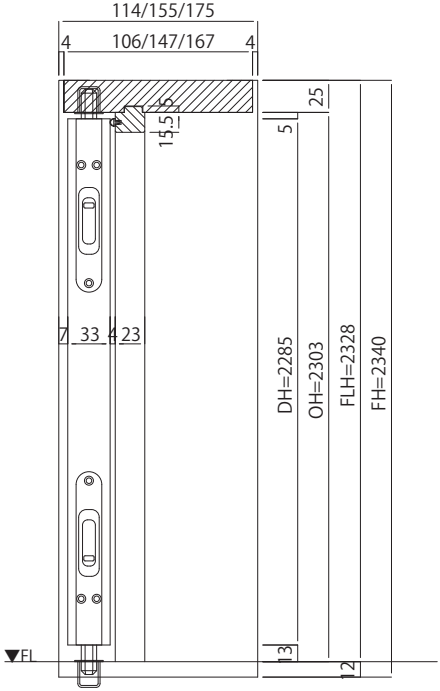
姿図



横断面図(固定枠)



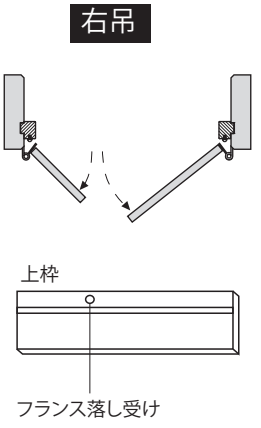
縦断面図



1. 枠の組立て・取付け

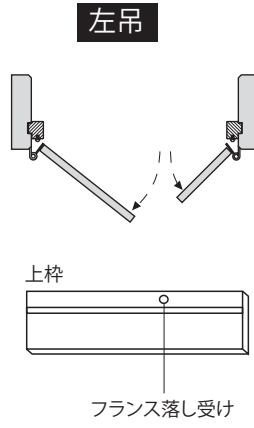
①ご希望の開き方を下の図を参考に選択して下さい。

右吊



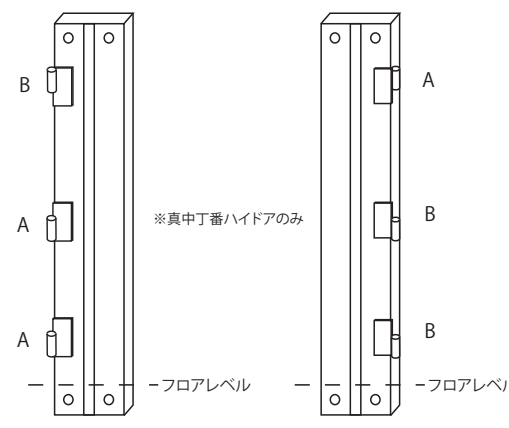
上枠
フランス落とし受け

左吊



上枠
フランス落とし受け

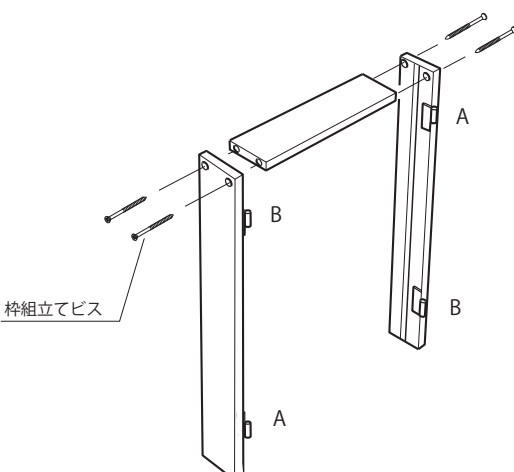
②必要に応じて下端カットしてください。



※真中丁番ハイドアのみ

—フロアレベル—

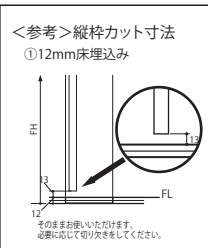
③同梱の組み立てビスで横枠と縦枠を固定して下さい。



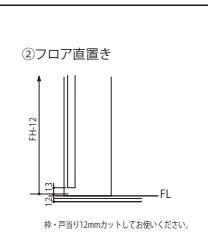
枠組立てビス

<参考>縦枠カット寸法

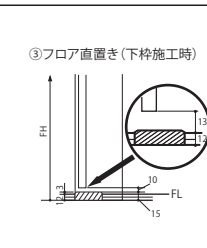
①12mm床埋込み



②フロア直置き



③フロア直置き(下枠施工時)



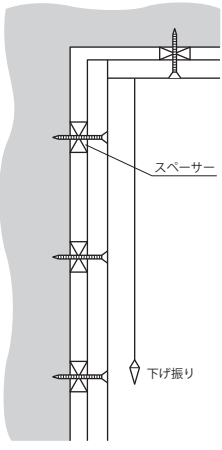
そのままお使いいただけます。
必要に応じて切り欠きをしてください。

枠・戸当り12mmカットしてお使いください。

2. 枠の取付け

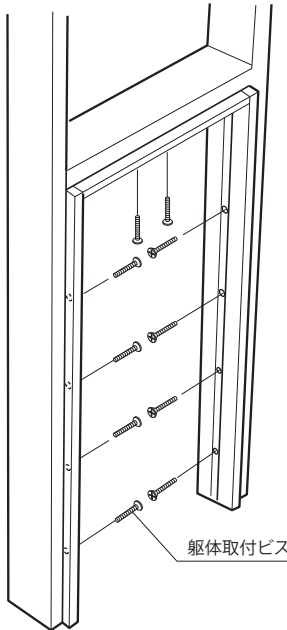
①開口部の水平・垂直を確認してください。
②躯体取付けビスを使って、枠を取付けてください。
③フランス落としの下用受けつぼを、上枠の加工位置を確認しビスで固定してください。

※下げ振りなどで建付けを確認しながら取付けてください。
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。

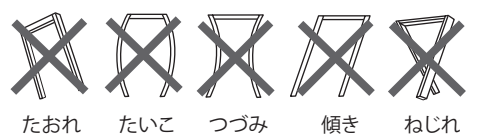


スペーサー

下げ振り



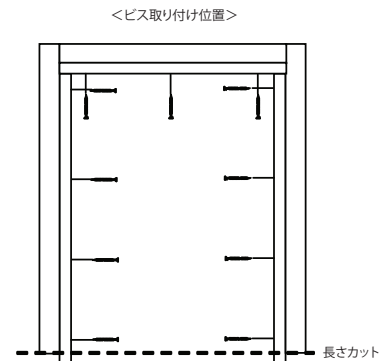
躯体取付けビス



たおれ たいこ つづみ 傾き ねじれ

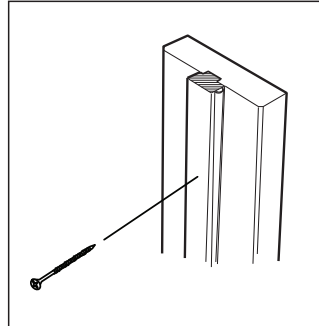
3. 戸当りの取付け

①枠の溝に接着剤を入れ、戸当り用ビスで固定します。
②初めに、上戸当りを取付けてください。
③縦用の長さは、現場合せのうえカットしたのち、取付けてください。



<ビス取り付け位置>

長さカット



5. 扉の吊込み

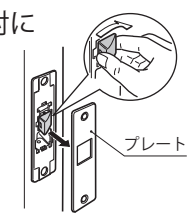
●丁番とレバーハンドルの取付けは、レバーハンドルの部品箱の付属の説明書をご覧ください。
●扉側丁番、丁番ケースカバー、丁番取付けビスは、レバーハンドルの部品箱に同梱してあります。

注意

①一度扉を吊り込み、扉がスムーズに開閉できるかを確認してください。
②扉の保護のため、扉を一度取りはずし建築工事完了後に再度吊込むことをお勧めします。

6. 建付け調整

●ラッチの向き 左吊の場合にはプレートははずして、ラッチの向きを反対にしてください。
(標準は右吊用になっています。)



プレート

左に回す
2mm調整

右に回す
1mm調整

●ラッチ

●ストライク

レバーハンドルの箱に同梱してある丁番の説明書をご覧ください。
ラッチがストライクの中でガタついたり、ストライクにかからないときは、ストライクの調整を行ってください。

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △

ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

<お手入れ方法>

●お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
●シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
●ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。